

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	H17.3.22~		
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	02 自然と共生するまちづくり
	小項目	施策	01 環境保全
事務事業名	05	地球温暖化防止対策事業	
このシート作成に要した時間			3.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	小学生～成人までの市民
目的 (何のために)	温暖化防止のための活動や取り組みについて情報提供等を行い、温室効果ガス削減に繋がる事業を実施する
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	温暖化防止活動に取り組むきっかけになる可能性がある人員を増やし、温室効果ガスを削減する事業を推進する

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
地球温暖化防止対策事業	BDFプロジェクト＝廃食油の回収とBDF燃料の使用による地域環境循環システムの構築		
エコハウス管理事業	住環境からのエネルギー削減を提案する啓発拠点の建設運営		
目的を達成するため実施した事業			

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
事業費	直接事業費		0	92,074	10,302
	必要人員(人件費)	千円	0.50人	4,811	0.98人
決算額	事業費計		4,811	100,541	13,759
	国県支出金			66,995	7,844
	受益者負担				
	繰入金	千円			
財源	その他()			32	37
	一般財源		4,811	33,514	5,878
受益者負担比率		%	-	-	-
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	結果指標量	リットル	2,224	6,582	7,472
	対前年比	%	-	296.0%	113.5%
	活動コスト	円	96,220	86,398	82,262
単位当たりコスト			43	13	11

(平成22年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
エコハウス利用者数	目標値(A)	-	-	3000	3000
	実績値(B)	-	-	1728	到達目標値
	達成率(B/A)	#VALUE!	#VALUE!	57.60%	4000

成果指標設定の考え方・式や説明

エコハウスの利用者数の増減により、省エネ・新エネルギーの関心度をみる。(エコハウスH22年度～)

事務事業の評価		5段階評価(A～E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A～E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	・BDF事業におけるBDF燃料の本格使用と事業広報の実施 ・環境共生型住宅の周知、利用の増進					

総合評価		5段階評価(A～E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	評価区分 <A～E>
事業の重要性と注目度は上がってきており、今後も停滞することなく着実に進めていくように努める			B

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	・既存事業の運営推進 ・最新情報の取得と新規事業の考案 ・市を代表する事業としてのPR					